

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	南アルプスジオパーク認定10周年・ユネスコエコパーク登録5周年記念シンポジウム事業
事業主体 (連絡先)	伊那市商工観光部観光課 (0265-78-4111 内線2441)
事業区分	(5)環境保全、景観形成、(6)産業振興、雇用拡大 (ア 特色ある観光地づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	514,384 円 (うち支援金: 300,000 円)

事業内容

ジオパーク、エコパークともに「保護保全」「教育」「地域振興」を3つの柱とし、継続的に活動を進めてきたが、地域住民への浸透や他地域への発信において十分と言えない面がある。それぞれ認定から10年、登録から5年の節目を迎え、今後のさらなる発展につなげていくために、シンポジウムを開催した。

ジオパーク、エコパーク活動の普及と、環境保護保全や登山等での安全に対する意識の向上に資することを目的とし、講師に、山岳医の大城和恵氏と日本MAB計画支援委員会の若松伸彦氏をお招きし、南アルプスの魅力などについてお話いただいた。



【シンポジウム パネルディスカッションの様子】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

今回の事業により、住民へ改めて南アルプスの魅力、その価値や課題を伝えることで、自地域に対する郷土愛を醸成するとともに、ジオパーク・エコパークの活動について理解と環境保護に対する意識を向上させることができた。

また、他地域からも参加してもらえたことから、南アルプスの情報発信の機会となり山岳高原観光の振興つなげることができた。

参加者数 約150名 (伊那市内約90名、上伊那32名、ジオパーク構成市町村7名、県内市町村10名、県外13名)

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後も、積極的にジオパーク・エコパークの活動について情報発信していく。また、ジオ・エコツアーを多数検討し、南アルプスの魅力を体感できるツアーを催行していきたい。さらに、環境保全・保護について考える機会(ライチョウ勉強会など)も増やしていきたい。

【目標・ねらい】

- ① 南アルプスの魅力の再認識
- ② 郷土愛醸成
- ③ 環境保護に対する意識向上

※自己評価【 A 】

【理由】

伊那市内をはじめ多くの方に参加していただき、南アルプスの魅力や持続可能な利用について考えることができた。